

作目：ピーマン（施設）

生育ステージ	気象条件	高温により発生が懸念される障害被害 (赤太字は重要被害項目)	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報
全ステージ	高温 乾燥時	生育不良	光合成活性の低下*1 乾燥時は気孔の閉鎖により光合成が阻害される*2	耐暑性が高い品種の利用 水分管理湿度管理（湿度70%以下にならないように細霧冷房装置などを使用する、排液率20～30%以下にならないように給液量・給液頻度を増やす）	細霧冷房などによる湿度管理（相対湿度70%～90%の範囲に維持するようにする）		耐暑性が高い品種については種苗会社各社のHPを参照 *1 高取由佳畑瀬房次. 2005. わが国におけるパプリカ研究の成果と問題点 (8) パプリカの個葉の光合成特性. 農業および園芸. 80: 718-723 *2 https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S009884722030229X (英文)
		落花	高温（約30～33℃以上）で発生が増える*3	花部の温度を下げる(約18～30℃)	カーテン遮光、ヒートポンプ冷却、など		*3 https://academic.oup.com/ixb/article/55/406/2261/585850 (英文)
		小玉化	開花前後の高温による種子数の減少による小玉化、および生育期間中の高温がもたらす着果負担の増加による小玉化*4	果実の温度を下げる	カーテン遮光、ヒートポンプ冷却、など		*4 https://journals.ashs.org/view/journals/jashs/150/4/article-p226.xml (英文)
		コナジラミ類による吸汁害	発生に適した温度条件が長く続くことで被害が拡大	事前に持ち込まない	薬剤散布		
		チャノホコリダニによる吸汁害	発生に適した温度条件が長く続くことで被害が拡大	事前に持ち込まない	薬剤散布、被害株の撤去		
	高温 多湿時	生育不良	蒸散量低下に伴う養水分量吸収の低下によって光合成量が低下する	耐暑性が高い品種の利用 水分管理湿度管理（相対湿度90%以上にならないように換気する）			耐暑性が高い品種については種苗会社各社のHPを参照
		黒枯病	高温多湿、肥料不足などで発病が助長		薬剤散布		

2025年8月時点 農研機構調べ

作目：ピーマン（施設）

生育ステージ	気象条件	高温により発生が懸念される障害被害 (赤太字は重要被害項目)	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報
育苗定植期	高温 乾燥時	草勢低下	活着不良	遮光遮熱(15~25℃)、水分管理	カーテン遮光、ヒートポンプ冷却、など		
		発芽抑制	培地のカビ繁殖	培地消毒			
	高温 多湿時	立枯病（主に土耕）	糸状菌の感染 -フザリウム立枯病菌による立枯病 *5, 6 高温多湿土壌（灌水過多、排水不良）などで発病促進 -リゾクトニア菌による苗立枯病 *7, 8 地温15-21℃、多湿条件などで発病促進	土壌消毒、窒素過多の回避、灌水排水の最適化 *5 新しい育苗用土の使用、土壌消毒、灌水管理*7, 8	（苗立枯病）薬剤の灌注、発病株の除去*7, 8	フザリウム立枯病について、 有性世代の学名は Nectria haematococca （ネクトリア・ヘマトコッカ）、 無性世代の学名は、 Fusarium solani（フザリウム・ソラニ） リゾクトニア菌の学名は、 Rhizoctonia solani（リゾクトニア・ソラニ）	*5 https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=3427
							*6 https://shikoku-shokubo.org/shikoku-shokubo/images/file/backnumber/34/34-8.pdf
						*7 https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=3427	
						*8 https://www.takii.co.jp/tsk/bugs/ape/disease/naetati-gare/index.html	
果実肥大期	高温 乾燥時	果実の日焼け	高温、強光条件による果肉温度上昇を原因とする柔組織の壊死高温乾燥による葉からの水分損失は果実の含水率を下げ果実温度上昇の要因になり得ると考えられる*9, 10	日焼け果が発生しにくい品種の利用 果実の温度を下げる(約18~30℃)	カーテン遮光、ヒートポンプ冷却、など		日焼け果が発生しにくい品種については種苗会社のHPを参照 *9 https://www.cabidigitallibrary.org/doi/book/10.1079/9781845937676.0000 （英文） *10 https://kochi.repo.nii.ac.jp/records/5055
	高温 多湿時	果実の尻腐れ	蒸散阻害によるカルシウム供給不足 *11	尻腐れになりにくい品種の利用 蒸散を促す（換気や循環扇の使用による高湿度抑制）、給液量を増やす	摘果、カルシウム葉面散布		尻腐れになりにくい品種については種苗会社各社のHPを参照 *11 バブルカの尻腐れへの技術的対応 https://www.ifc.go.jp/n/finance/keiei/pdf/2587.pdf

2025年8月時点 農研機構調べ